

			新型コロナウイルスに関連した職場の変化について感じている問題を教えてください。	職場の問題で組合に取り組んでほしいことがあれば教えてください。
1	朝倉	教員	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の実施が、ほとんど教員に丸投げになっているので、教員へのサポートなどをお願いしたいです。 ・恐らくコロナ対応などが原因で、体調を崩す教員が出てきています。 	東北大が業務に印鑑を使わないようにするとニュースでありましたが、高知大でも業務の簡素化を進めてほしいです。
2	朝倉	事務職員	ウェブ会議が主流になり、機器の知識不足を痛感しました。	コロナ鬱が起きてないか、そういった調査はあってもよいかと思います。
3	朝倉	事務職員	飛散防止シートの設置等、感染対策実施している。特に問題は感じない。	特になし
4	物部	教員	大学内での学生の活動比率は減少したと感じる。結果として、学生の生活リズムも変わってきてしまっているのではないかと。	
5	朝倉	事務職員	マスクが苦痛	
6	朝倉	教員	オンライン作業で業務は増えている気がするが、研究を含めて仕事はなかなか進まない。また教員として、学生と顔を合わす機会が減ったので、学生がどうしているか見えにくくなっている。	
7	朝倉	事務職員	特にありません。	特にありません。
8		教員	ウィルス感染しないような環境になってきていると思う。しかしながら、中途半端な対策ではいつクラスターが起こるか分からないので不安である。	テレワーク環境の充実
9	朝倉	教員	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の準備に時間がかかる。実感として、対面授業時の3倍程度は時間と労力がかかっているが、それでも対面時と同等の質を確保することは難しい。研究時間を減らさざるを得ないが、結局労働時間は増え、体調を崩すことが多くなった。 ・フェーズの移行など、物事を決定するにあたり想定しなければならない事項が多く、会議の拘束時間も長くなった。仕方のないことだが、疲弊する一方で体が持たない。 	
10	朝倉	事務職員	マスクが苦痛	

11	朝倉	教員	対面が不可のため、会議での時間の浪費は減ったように思う（会議自体の件数減少や、会議中での不要な発言の回避等）。一方、重要な案件については十分議論できているとはいえず、もしかすると見落としていたり、不透明な進め方になっている懸念はある。	安全対策（少なくとも各棟入口には消毒液を配置）。大学運営の透明化
12	朝倉	教員	コロナ対応で仕事が増えている。	附属学校の先生のワークライフバランス。 附属学校にかかわる先生方が多忙。
13	朝倉	事務職員	飛沫感染対策のため、事務室では対面となる机等にはビニールを吊り下げている。事務局のトイレの手洗い場もアルコールや除菌ソープが置かれているが、ニュースでも言われているが、コロナウィルスはトイレの床や便座に付いているのに、便座クリーナー設置の対策はないままである。コロナ前は、トイレであるにもかかわらず、石鹸すら置かれておらず、衛生対策はされていないに等しい。トイレの対策をなんとかしてほしい。これでは、もしかしての場合は、トイレから感染が拡大するのが予想される。	事務局のトイレの衛生対策に不満がある人が多いと思うが、お願いする先もわからないため、環境改善を求められるなら、組合さんをお願いしたいです。学部等などのトイレの状況は詳しくありませんので、事務局のみのことで回答します。
14	朝倉	事務職員	附属小学校では熱中症対策の為の冷房とコロナ対策の換気を共に行う必要がある為光熱費の上昇が心配。	
15	朝倉	事務職員	事務所内で飛沫感染防止のために対面となる席にビニールをはっているが、そのビニールの除菌は全く行っていないので、換気のほかにそれも行う必要があると思いました。	トイレで、便座等の除菌をできるものがあればより良いと思います。また手洗い洗剤は固形石鹸よりはボトルに入った液体のものが良いと思いました。
16	岡豊	教員	医学部教員兼臨床医の負担が大きい。また負担格差も激しい。	
17	朝倉	教員	自宅からオンライン授業やオンライン会議を行わなければならない機会が増え、自宅のインターネット使用料や電気代などが増えた。テレワーク用に新たに机や椅子、パソコンやマイク、ホワイトボードなどを揃える必要が出てきたが、自宅で使用することもあり研究費（運営費交付金等）で購入することはできない。	毎月のインターネット使用料や電気代などを手当てとして支給するよう大学に働きかけていただきたいです。 また、自宅で使用するための機材購入用の1回限りの手当ても支給するよう働きかけをお願いいたします。

18	岡豊	教員	オンライン授業の準備が大変であった。今までの数十倍の時間を教育に要した。オンライン試験等での学生評価が正當にできているか不安である。	
19	岡豊	医療職員	以前コロナ対応病棟を作った祭にその病棟の疾患のオペ件数を減らすことなく、他部署へ患者が回されることにより慣れない業務や指示で疲労した...	
20	岡豊	教員	出張に制限がかかり、外部との共同研究の推進に障壁が生じた。かなりの遅れが出ているが、現状改善のしようがない。外部資金を獲得したプロジェクトも複数あるため、今年度末の報告書の作成が悩ましい。	
21	岡豊	事務職員	三密行動の回避重視	消毒の徹底
22	岡豊	医療職員	web会議の為、カメラ付きpcへ変更する必要があった。ネット環境が悪く円滑にすすまない。ぐらい、問題という問題でないかもしれません。	
23	岡豊	医療職員	業務上であまり大きな変化はない。医学生の実習が十分にできていないことが彼らにとって不利益になっているんじゃないかと心配です。	
24	岡豊	事務職員	オンライン化が進み、会議や情報共有が一方通行になっている時がある。 Teamsでミュートにされると参加しているのに実際はpc前に居ない時もあるかわからない。 情報提供もだが、対面でないと不安。	
25	岡豊	医療職員	今年4月1日採用だったので、変化はあまり感じる事がなかった。ただ、業者さんや他部署の人との交流の機会が少なく、5か月経った現在でも職場の人間関係が広がらず、情報等得にくい状況だと感じている。	
26	岡豊	事務職員	色々な対策が他と比べて遅く感じる。 病院でありながら、来院する方がマスク着用していないにもかかわらず着用を言わない。 マスクをしていただく徹底が出来ていない。 もらわない為だけでなく、人に移さないという目的もあります。 病院でありながらも、他と比べ緊迫感が感じられない。	

27	岡豊	教員	特になし 新たな生活様式も期待出来ず	在宅ワークで出来る部署であれば不要とみなされると言われたことがあります そういう考え方しか出来ない組織には失望します
28	岡豊	医療職員	すべての発熱患者に対し疑って感染防御をするため時間がかかる。今のところ差別はないが今後コロナが生じた時の差別的対応が起こるかどうかが心配だ。	
29	岡豊	医療職員	単なる発熱やカゼ症状でもコロナ感染を疑い自宅待機や有休をとる人もいる。不公平感が強い。 1年生が心配である。	
30	朝倉		在宅勤務の影響か上司のなまげぐせがますます加速した。	JR、路面電車通勤の場合、本数が少なく中高生で大変込み合っている（密の状態、マスクせず大声でおしゃべりしたりお菓子やパンを食べている）、時間差出勤が認められるよう（非常勤含む）取り組んでほしい。
31		事務職員	マスク着用により、会話が聞こえづらいです（小津）	
32	朝倉	教員	対面授業がなくなったことで、とくに1年生は大学生活を送れず、友人もできない状態にある。 地域協働学部では特に現地での次週に行けなくなり、中核となる授業ができなくなり厳しい状況にある。 うまく対策をとりつつ対面授業の復活を望む。	
33	朝倉	事務職員	学生（院生）さんと会わないためどのような人なのかが全くわからない。 非常勤講師による集中形式の授業の場合、実施方法や時期に関する情報がないと給与を適正に支払うことができない。二重払いの心配や期間内に授業が実施されるかどうか不安になるなど、事務の精神的負担が大きくなるので、世話教員には適切に対応してほしい。 出張もなく先生も在宅勤務、学生も出入りもなく教室のしようもない状態だと業務が少ない。	

34		事務職員	個人的には高等教育機関は、コロナに負けずに対面授業を実施していただきたいです。(幼・保・小・中・高は対面を実施しているのに、大人が対面できない理由は・・・) 対面せずテレワークを進めるのであれば決済を電子決済とするようにして頂きたいです。	
35	朝倉	事務職員	在宅勤務は、データの持ち出しができないことと、職員の意識が”勤務”になっていないので感染症の退避でしかなく在宅休暇である。 急なことで難しいと思うが、授業（オンライン）が課題が多くなっているようで手抜きである。	
36	朝倉	事務職員	対面でお話しする際により気を遣う。 コロナのせいでいろいろ変更手続きが多かった。	
37	岡豊	事務職員	職場に掃除の文化(定期的なワックスがけ含める)がないため、綺麗な環境ではない。コロナ対策のためにも綺麗な環境作りを行う必要がある。	
38	岡豊	教員		会のweb化(研究会を含む)
39	岡豊	事務職員	在宅勤務もテレワークも関係ありませんでした。 アンケート自体が無意味です。 実情を把握した上で在宅勤務及びテレワークを経験した方にアンケートを取られた方が参考になるでしょうし、紙代、印刷代の節約になるでしょう。	
40	岡豊		製薬会社の訪問が減り、後援会が減り、ムダなカンファや会議が減り、とても快適な環境になった。今までいかに無駄なことをしていたのか考えさせられた。moodle授業でも十分できることが分かった。	
41	岡豊	事務職員	手洗い、手消毒を徹底してほしい	
42	岡豊	医療職員	密なカンファレンスが減った。	
43	岡豊	医療職員	常にマスクを付けるのが苦しい。	
44	岡豊	医療職員	eランニング、研修が自宅持ち込みになり、家庭での時間配分が取りにくい。	

45	岡豊	事務職員	医師と看護師はきちんと予防対策できている。	在宅ワークといっても不可能な職種がある。 医療秘書は、人数が増えてきているらしいが、決まった部屋もないしデスクもない。休憩する場所もアウェイ感があり環境整備がされていない。
46	朝倉	教員	例年のルーティンな流れと変わって、全てのことに判断が必要で、前例もなく基準もなくゼロから考えなくてはならない、そのことに苛立ちが沸き起こる、といった例年になかった職場の変化を感じている。	このようなアンケート調査と結果公表。こうしたことは組合ができる貴重な取り組みと思う。このような非常時には、一人ひとりの「アイデアを！」集めて大学に提案してほしい。
47	岡豊	医療職員	1.コロナ疑いで入院して、結果が陰性なのに退院をなかなか決まらず介護目的のようになる事がある。何でもコロナ疑いにすればいいわけじゃない。 2.コロナが発生した場合の対応ばかり細部まで取り決めがあるが、周りの事が徹底されていない。手術の日に家族は来ない（呼ばない）と決まっても、医師が家族に居てもいいと説明していたり、別の部署から毎回家族は来ているか？と問い合わせがあったり。統一した対応をして欲しい。	給付金の迅速な支給、および支給見込みのお知らせ。
48	岡豊	医療職員	看護師だが、高知県でコロナウイルスが増えているなか、いつ、自分が感染し、知らないうちに医療の場に持ち込んでしまうのではないかと恐怖になる。 高知県が医療者に慰労金を出すと発表してしばらく経つが、看護部や病院トップからなんの音沙汰もない。病院で勤務している者は病院を通じて申請するよう市が条件を出しているが、なにも病院の上層部からない。師長に尋ねてもはぐらかされる。周囲では病院が赤字経営の補填で、勝手に個人の許可なく申請して穴埋めしているのではと噂になっている。他病院では申請も済ませ慰労金を受け取っている医療者もいる。高知大学では請求できないのかと大変疑問に感じる。	
49	岡豊	医療職員	家族の面会内容が変更される度に対応に追われる。対応業務が増えた。	
50	岡豊	医療職員	色々な会が密になるので、出来なかった。毎日体温と休憩場所、時間をパソコンに入力しなければいけない。病院の出入口の時間制限がある。	特になし

51	岡豊	教員	特になし 新たな生活様式も期待出来ず	在宅ワークで出来る部署であれば不要とみなされると言われたことがあります そう言う考え方しか出来ない組織には失望します
52		医療職員	病院玄関で体温を測定しているが、測定せずに外来に来た人がいた。 職員の昼食スペース（アメニティ施設）が使用できなくなった。変わりの講義棟は冷房が効かず、利用するのはむづかしいと感じた。発熱していたという訴えがある患者を内科の医者ではなく、患者の予約している科のDr.がコロナの疑いがあるかどうか診察していた。	玄関でしっかり体温を確認してほしい。（咳がひどい患者も） 講義棟は冷房が効かないので、別の場所にしてほしい。講義棟も学生が使用しているので、それならアメニティ施設を職員にも使用させてほしい。 発熱の訴えがある患者は発熱外来や内科のDr.がきちんと診察してほしい。
53	岡豊	医療職員	感染予防に努めており、職員が皆、常に緊張状態にあります。期間が長くなり、終わりが見えず、精神的な疲れが見えています。 3密を避けたいが、現実的には無理です。患者数が多く密集。建物の作りの問題で密室。患者さんと接する機会が多いので密接。さらに夏にマスクをしていない患者さんも多いです。いつ感染してもおかしくない状況で、心理的負担は大きいです。 職場と自宅、スーパーのみで自粛に近い生活を続けている職員もいれば、複数人で集まったり県外へ行ったり気にせず過ごしている職員もいます。注意喚起の回数を増やしたり、具体的な内容で指導したり、もう少し工夫できないでしょうか。	
54	岡豊	医療職員	学生実習で学生が患者に対面できない状態が続いており、モチベーションの維持が難しそう。 あとは、この状態でわざわざ大学に来させているのが少しかわいそう。	
55		医療職員	以前昼食をとっていたアメニティ施設がコロナの関係で学生の待機場所となり、その場所での昼休憩ができなくなりました。そこで新たに昼休憩をとれる場所（第3講義室）を提案してもらいましたが、広い部屋に扇風機2台のみと7月8月は暑く休憩するには休みにくい環境でした。 所属する診療科には一応休憩スペースはありますが3~4畳ほどのスペースでスタッフが時間をずらして休憩に入っても一時は密な状況になりうる場合があります。 また、第3講義室は学生も昼休憩に利用する場所であり、やや騒がしい環境となっています。	

56	岡豊	医療職員	学生のモチベーションが心配なのと、以前よりも学生の理解度が(リモートでは)下がっている気がします。	
57	岡豊	医療職員	発熱対応に手が取られるため、忙しい。	
58		医療職員	面会制限のため、患者さんへの説明や家族への説明、対応に変化があった。 特に外出・外泊を希望する患者の理解が得られず対応に困った。 3密を避けるように気をつけることが意識づけされてきた。 マスク不足と言われた時期、必要以上の使用をさけるように言われ不安を感じるがあった。	コロナの結果が時間内外問わず当日簡易的に結果をさせるようになってほしい。 職場休けい室がせまくソーシャルディスタンスが保てない。
59	岡豊	医療職員	密の換気や空気清浄機を置くなどして三密の対応に取り組んでいると思います。	
60	岡豊	医療職員	現状は、手袋・マスク・ガウン・消毒用品(液体・ペーパータイプ)等、納品されているが、供給が不足するのではないかと不安に思う。 また市井でいつどこで感染するかわからなくなった状態なので、職場に持ち込んでしまわないかと非常に気になり、人との交流も減り、外出もほとんどしない状況が続いている。 予防行動はとっているが、先が見えないことで不安に感じている。	
61	岡豊	教員	ミーティングの減少 講義のオンライン化 面識のない学生(特に新入生)のケア 対面なしで今後も大丈夫なのか? いつまでこの状況であるかわからず不安。	
62	岡豊	医療職員	マスク・防御服が不足しています。	
63	岡豊	医療職員	学会や講演会がなくなった。 学生の実習が、本来の実習ではなくなった。	

64	岡豊	医療職員	<p>自分の体調管理に気を付けている人は多くなったと思います。 コロナについて、気を付けている人とあまり気にしていない人の差が大きいと思います。</p>	<p>①マスクを着用していない職員がいます。会話をしていなければいいと思いますが、マスク無しで会話や電話をしているため、気になります。 ②換気をするようにという通知は来ていますが、できていません。 ③自分のデスクで昼食をとるのはいいのですが、マスクなしで会話をしているため、密ですし、クラスターにならないかと感じています。 ④アクリル板を横にしている人もいますが、前には何もないので、対策が必要だと思います。 ⑤会議はウェブではなく対面になっています。患者さん向けには対策をしているように思いますが、職員間での注意があまり出ていないように感じるので、感染対策の調査や指導をしていただきたいです。宜しくお願い致します。</p>
65	岡豊	医療職員	<p>自分自身が、無症状で感染してしまっているのではないかと、患者さんやほかのスタッフにいつ移すかもしれないとの思いで気持ちがしんどい。 病院入り口で検温してきた面会の方が、県外からこられていたり症状があったりとした際に後になって分かることがある。結果はいつも陰性でしたが。 面会者と患者さんとの荷物の受け渡しなどや取りつきなどの対応で業務が増えた。 T37.5℃以上であるとコロナを疑うため熱の原因がちがうと調べていても結果が出るまでコロナ対応として扱うので大変です。</p>	
66		医療職員	<p>面会制限開始当初は、制限について、ご理解いただけないご家族の対応に時間をとられる事がよくありました。 その間の業務の遅れを取り戻すのに苦労しました。 説明・対応するスタッフがいてくれたら、もう少しスムーズだったのではないかと思います。</p>	
67	岡豊	非常勤	<p>通常営業でしたので特になにもありません。</p>	
68	岡豊	技術職員	<p>特になし。 昼食もスペースをとり個々で食べている。 マスクも付け、消毒液も置いてある。</p>	

69	岡豊	医療職員	食事休けい時に、同室で過ごす人数を減らしているが、マスクを外して私語が多いと感じる。 スタッフの危機感が3~4月ころに比べて薄くなったと感じる。	
70	朝倉	教員	在宅勤務で仕事とプライベートの区切りがなくなり、どうしても夜中などに学生対応や学内業務をせざるを得ないことがあります。また、毎月の勤務表は、在宅勤務の日はみなしで9時17時と入力せよという指示を受けているのですが、果たしてこれが適当な処置のされ方なのか分からず、不信感があります。	オンライン講義作成にかかる機器の費用、在宅勤務中における電気代・水道光熱費、インターネット代など、本来職場が負担すべき諸費用の負担を求めています。
71	岡豊	事務職員	出勤しないとできない仕事が多いので在宅ワークでできることが限られていた。PCの持ち出しなども設備が整っている人といない人がきて公平ではなかった。 身内が県外にいて、帰省して時などは各自自主的に休んだり調整して出勤したりと気遣いの程度が難しい。	
72	岡豊	事務職員	感染予防にかなり神経質になっている。	勤務の決まり(県外に行った、県外の人と接触したなど)自粛期間をきちんと設定してほしい。
73	朝倉	教員	在宅勤務でいちばんたいへんだったのが、自宅が職場となり、自宅にいながら24時間ずっと仕事のことを考えているようになったことです(土日もです)。メンタル的にかかなりおいつめられました。きもちの切り替えができるように、たとえば、仕事がらみのメールの送受信は8時から17時までとする、というようなルールが必要であるような気がします。そうしないと、メールが来るかぎり仕事時間がおわらなくなります。もちろん、在宅勤務となるまえも、夜おそくに仕事のメールが来たり、自宅でメールチェックをすることがありましたが、それはあくまでも職場ではなく自宅で読むメールでした。ところが、在宅勤務となると、メールが来たとたんに自宅は自宅でなくなり職場となります。私がきもちの切り替えがへたなだけかもしれませんが、きつかったです。	テレビ会議システムをつかえるようになったことが、コロナ禍のいちばんの遺産であると思います。コロナ後もその遺産を活かしてほしいです。たとえば、会議は可能なかぎりメール会議とする。質疑応答が必要な会議も、テレビ会議システムをつかっておこなう(資料の印刷などがいっさい不要となるだけでなく、会議の途中で資料をいくらでも追加できます)。授業でも、資料の配布などを可能なかぎりオンラインでおこない、学生がPCの画面上で資料を見ながら授業を聴くというスタイルをスタンダードとする。とかです。

74	岡豊	事務職員	出勤しないとできない仕事が多いので在宅ワークでできることが限られていた。PCの持ち出しなども設備が整っている人といない人がきて公平ではなかった。 身内が県外にいて、帰省して時などは各自自主的に休んだり調整して出勤したりと気遣いの程度が難しい。	
75	岡豊	医療職員	物品(マスクやキャップ)が不足していると感じました。慰労金がいつ入ってくるかそわそわしていると感じます。	慰労金がいつ入ってくるか調べてほしいです。
76	岡豊	医療職員	毎日検温をして出勤。食事中も離れて、私語を控えている。休み中も外出自しゆく、県外への往来禁止。	特になし
77	岡豊	医療職員	いつCOVIDの患者を見るかもしれないと思うと怖い。もしもかかってしまった場合、もとに戻れるような環境ではない気がする。かかった時、保障もあるが、職場の上司から責められそう。	
78	岡豊	医療職員	コロナ専用の病棟ができたり、コロナのため熱の患者がきた時、Drへの報告が必要だったり、少し大変になった。	
79		医療職員	マスク、ガウンなど物品の供給不足による仕事の制限、身体的・精神的負担、通常では交換する物品を使用し続けなければならない不自由さ。	
80		医療職員	疑いのある患者さんに関しては感染防御対策も行えるが、無症状患者さんや発熱のみの症状がある患者さんで感染している場合は対策の取りようがないため、困っている。	
81	岡豊	医療職員	フェイスシールド付のマスクやキャップ等の材料の供給不足。	
82	岡豊	医療職員	新型コロナウイルスが流行して、当院でも対応策を行っていますが、新型コロナウイルス患者に対する対応を十分に取れるか不安があり、職員の精神的負担も大きいのではと感じています。自分がコロナに感染することで、他の人に染してしまうのではないかと日々不安に思っています。	物品の供給不足がないように考えて頂きたい。

83	岡豊	医療職員	感染対策を充分にしているのにも関わらず、万が一感染してしまった時に、個人を責めるのはやめて欲しいと思う。医療安全や感染研修など今まで講義棟に決められた時間帯に大集合していたが、今年は、すべてe-learnigとなり、空いた時間にパソコンさえあれば研修を受けることができるので、これからも継続して欲しい。集まらなくてもできる事が結構多くあると感じた。感染者数の多い地域へやむを得ず、出かけたあと、2週間も人と会わない生活は実際には無理だと思う。	
84	岡豊	医療職員	昼休み時にソーシャルディスタンスに基き、きよりとってご飯食べることがつらいです。	
85	岡豊	医療職員	GoToトラベルの利用を控えている医療職員に対してマリッジ休暇の取得期間を延長してほしい。	
86	岡豊	医療職員	コロナ疑い患者が来院した際の対策が大変です。また、検査(PCR)の結果がでるまで心配。自分が感染して家族にうつしてしまわないか不安。マスクやフェイスシールドが不足しており、同じ物を再利用しているので不潔ではないかを感じる。	
87	岡豊	医療職員	当院はそこまで深刻ではありませんが、医療材料の不足が深刻かなと感じました。(今は落ち着いていますが・・・) 日常生活が制限されているのも感じます。特に医療従事者なので人一倍いろいろな事に気を付け生活しています。	随時対応してくれていると思います。
88		医療職員	対策してメールwebで動画などで配信がありますが、実際のところそれでやっても正確かどうか分かりませんし部署によって、人によって職種によってもちがうので安心できる統一したやり方などしてほしい。 毎日毎日新しい対応に変わっていくので、それを確認してからの業務になるのでその分業務が遅れて大変でした。 休憩場所がソーシャルディスタンスになり、みんなと会話ができないのでさみしいです。形をかえたソーシャルディスタンスにしてほしい。(みんなとコミュニケーションがとれるように) コロナ患者さんあつかいの情報が統一されていないので患者さんを通常通りうけいれしたあとコロナ患者疑いがあると言われるので困る。	すべて統一してほしい。全職員のPCR検査希望。休憩場所をソーシャルディスタンスができ、ほんとに休憩ができるスペースがほしい。

89		医療職員	新型コロナウイルス感染疑いの患者は、対応方法が異なるので、処置の準備や処置中処置後の片付けの負担が大きい。	
90	岡豊	医療職員	新しく対応マニュアルを作成しないといけないのが大変だった。	
91	岡豊	医療職員	手指消毒を今まで以上にするようになったため、消毒をおいている所まで動線が増えた。マスクなどの欠品、品薄。	
92	岡豊	医療職員	各会議や研修などが行えず、教育の場面でも困惑することがある。物資不足のため工夫して行っている。(特にアイシールド、マスク、ガウンなど)	
93	岡豊	医療職員	衛生材料の不足によって、一日に使用できる枚数が制限された。そのため手術で使用したマスクをそのまま持ちあっても良いか迷うことが多々あった。	
94		医療職員	コロナ患者対応のシミュレーションを事前に学んでいるが実際に患者を担当することがないので、緊急に患者を受けもつことになった場合規定通り対応できるのか非常に心配である。	
95	岡豊		面会者が同時間帯にきて、談話室が密になることが多い。	
96	岡豊	医療職員	日々手術や緊急入院などで忙しいのに、コロナ疑惑の人が自分の病棟に来た際は手が回らないほど対応が困難な状況もありました。今後も増えていくことが予想されるが、コロナ対応病棟(専門の場所)が対応してくれないときびしいものがあると感じました。	
97	岡豊	医療職員	体調管理と早期からの申告。マスク・手洗いの徹底。パーソナルスペース。面会制限。	
98	岡豊	医療職員	コロナ疑いの患者の受け入れにより、病室の確保や感染予防対策が大変である。通常業務を行いながらのコロナ対応は大変である。	

99	岡豊	医療職員	リモート実習が本当に意味ある時間になっているか現場に来てもらった方がイメージしやすいと思う。(交代しながらでも) コロナ疑いではマスクで大丈夫というけれど、本当に感染していたらどうするのか。他の患者をみながらどうつてしまっていないかコロナ用病棟の活用を考えて欲しい。	
100	岡豊	医療職員	実習方法がリモートであったり、患者役を教員がするなど、実習の意味が全くない状況にあります。現場にきて、実際に患者Ns、Drと関わらないと実習とはいえないのではないのでしょうか？現在の方法で単位をあたえることに疑問を感じます。 コロナ専門病棟(コロナ疑いの患者用)が一時期ありましたが、「専門性の高い疾病は当科でみれない」などの理由で、結局は十分に対策のなされていない病棟で対応するパターンが多く、不満を感じました。 空気感染と言われているのに、一般個室で対応するようにとの達しがあり、スタッフは不安を感じています。 スタッフでもし感染者がでてしまうと、ニュースに必ず「～才の看護師」など職場情報とともに放送されてしまうことを考え、不安を感じるスタッフが多いです。	在庫が少ないとの理由で、ガウン・マスク（N92マスク含む）・フェイスシールドなどが少なく、今後コロナ疑いの患者への対応が不安です。実際に対応しなければならない医療スタッフに感染予防の道具を与えてください。 コロナ対応病院となっているようですが、給付金をもらえるかというのははっきりせず、スタッフは不満を感じています。申請されているのかどうか？また、もし申請されていないのならばそれはなぜか？を教えてくださいたいです。
101	岡豊	医療職員	面会できる時間を決めているのでその時間帯に家族がたくさん来て、談話室が3密になっている。	20万円はいつきますか？
102	岡豊	医療職員	新型コロナに対して、防護具の準備が不十分であり不安を感じる。 新型コロナに対する正しい情報が遅すぎる。	患者さんは、治療及び介護のことが多く、看護師の人数を増やしてほしい。
103	岡豊	医療職員		職員の安全を確保してほしい。
104	岡豊	技術職員	スタッフの一部が過剰に反応しヒステリックになる為仕事に集中できない。 14'～の面会が人数制限してくれない為、待合が混み合い、むしろリスクが上がる。1階の受付は検温のみの為病棟で混み合っている事を理解しているとは思えない。それなら、各病棟も14'～14:30/というように面会予約制にして家族面会が多く混雑しないようにしてほしい。 他の病院では厳しく面会制限しているがここは緩い。14'～は面会対応に追われ業務に支障もある。特に土日はスタッフも少ない為困る。	面会予約制の変更30分を守らない家族もいる。
105	岡豊	医療職員		感染予防対策

106	岡豊	医療職員	面会時間を〇〇時～〇〇時と決められるとその時間に面会が集中するので、談話室に入れる人数を制限する事が必要だと思う。	
107		医療職員		コロナ関連の手当てをつけてほしい。
108	岡豊	医療職員	面会時間が制限されているのため、14時～17時30分の面会時間に面会者が集中して、面会場所のデイルームなどが逆に密になってしまっている。 面会が17時30分までだが日勤帯は17時15分までであり、勤務者の少ない夜勤帯に介助の必要な人の移乗・移動をしないとイケない。	医療従事者の給付金について、病院からもらえるのか、もらえないのか、手続きをしているのかしていないのか、はっきりとした説明がなく、「院長は申請しないと言っていた」等といううわさだけが聞こえてきて不安である。大事なことは末端までわかるようにして欲しい。
109	岡豊	医療職員	面会がデイルームのみとなったため、患者をつれてくるのが大変でした。デイルームが面会者で一杯でした。面会終了が17:30であったため、面会終了後の患者をベッドへ戻すため超勤となった。個室対応で可能であれば病棟でも対応して欲しいです。	給付金を頂きたいです。
110	岡豊		現在の職場においては面会の制限が区分されているが全ての面会者の把握ができていないように感じる。仕事内容には大きく支障はほとんどみられていない。	
111	岡豊	医療職員	県内でコロナ感染者が毎日出ているのに、面会者がめっちゃ来る。面会者で談話室がいっぱいなものを見るたびにこの中の1人に感染者がおったらこの病院終わりやなあと思う。面会禁止にした方がいいんじゃないかなあって感じます。たいしてコロナ患者受け入れてるわけでもないのに高知大学病院でクラスター発生ってニュースでいわれたら、さすがに恥ずかしい。	
112	岡豊	医療職員	PtがFamilyに会えないことで不安が大きい。	
113	岡豊	医療職員	コロナ疑いの患者さんが入院してくることがあり、緊張感がある。スタッフの心的負担はある。	コロナウイルス感染症対応従事者慰労交付金を申請しない理由を説明してもらいたい。

114	岡豊	医療職員	<p>家族の面会について、面会時間外などにおいても病棟まで家族が来ることが多々あり面会の受付を通っていない家族も見受けられた。コロナ患者または疑い患者にあたっている医療職員が多いが手当てなどが無い。</p> <p>医療者慰労金など政府が打ち出している案に対して大学病院がどういった手続きをしているかが不透明であり、また、病院長などのコメントなど一斉ない。</p> <p>コロナ疑いやその他の患者に対応しているのは職員であるためそれに見合った支援、物品の確保などをしっかり行なえていない。</p>	<p>コロナ患者を受け入れるのであれば入院や緊急入院の制限をかけてほしい。</p> <p>面会などの対応があいまいな部分が多く、医師がOKを出したという理由で禁止中でも面会に来ようとする家族があとをたないため、病院としての方針をしっかりと打ち出してほしい。</p> <p>対応にあたっている職員に対して手当てがあまりにも少なすぎる。疑いであっても、コロナ患者として、対応にあたっているのは現場の職員のため、そこをもっと考えてほしい。</p>
115		医療職員	<p>面会制限を始めるタイミングが遅い。コロナが流行し始めて他病院が面会制限をしている中で当院はしばらく面会できたので、患者さんや家族から「大丈夫ですか？」と不安を訴えられたことが何度かあった。</p> <p>荷物のうけわたしのための面会は可という基準があったが非常にあいまいだと思う。もっとはっきり厳格な基準にしてほしい、混乱します。</p> <p>コロナ患者受入れのため病床調整するならスタッフを増やしてほしい。緊急入院の受入れなど多忙となりスタッフは疲へいしている。</p>	
116	岡豊	医療職員	<p>院内でも部署により感染予防への認識に温度差があると感じる。すぐと組んでいる部門・人もあればそうでない部門・人がある。病院の体制として、いち早く検温などをとり入れたり、面会制限をもうけたのはとても良いと思う。</p>	<p>外来ですと、各科で感染予防自科努力をしているので、院内で統一された指示系統として感染予防対策が実施できる様にしてほしい。</p> <p>(例えば感染予防の患者さんへの協力要請の貼り紙。ソーシャルディスタンスの取り方、床にテープを貼る、などの方法)。もちろん各科で考えることもありますが検討要のことも、基本的な内容について統一できる様に指示伝達して欲しい。</p>

117	岡豊	医療職員	<p>マスクをするようになった、が、食事の時間はいつも通りで場所もそれまで通りだった。</p> <p>昼食場所が狭いため過密状態が続いているが、交代制や時間設定を見直すなど改善は可能ではないか。</p> <p>職場そのものはデスクの間隔はあいているものの、もともと喘息やアレルギーで咳やくしゃみをする者がマスクの枚数制限があるため、くしゃみをするときにマスクをはずし、咳をする時はマスクがあるからと手でおおうことなく平気でゴホゴホと咳をする。医療人としての自覚がこんな時明るみに出てくるものだなあとつくづく感じるが、そもそも注意しても自分の不潔さに気づかないので本人に改善はされることがなく、コロナでないことを願うばかりだ。</p>	<p>お昼休けいする場所やトイレがくさくて換気が弱いこと、設備の人がきてもエアコンがこれ以上きかないといった設置場所から全体にいきわたらない構造など建物の老朽化に伴った問題。</p>
118	岡豊	医療職員	<p>職員用の休けい所がなくなり、各部署でお昼休けいをとっている。密になり休んだ気がしない。休けい中も仕事の電話対応をしたりするとなかなか休めない。</p>	<p>冷暖房を完備した休けい室でしっかりと休息をとりたいです。学生とはわけた職員のための休けい室を用意して頂きたいです。</p>
119	岡豊	事務職員	<p>県外への出入りが制限され、緊張感が増している。例)出張、旅行などに行けない、行きづらい。</p>	
120	岡豊	医療職員	<p>たまにしか来ないので来た時に対応に困る。</p>	<p>外来で対応して欲しい。</p>
121	岡豊	医療職員	<p>防ごエプロンやアイガードの不足で使いたいときに使えない。</p>	
122		医療職員	<p>集合研修がないので、知識・技術の習得が少し不安。</p> <p>コロナ病棟があったときは、主科以外の患者もうけ入れなければならず忙しさが増した。</p>	<p>とくになし</p>
123	岡豊	医療職員	<p>コロナ病棟(疑い患者うけ入れ)を確保するにあたり、コロナ病棟となる部屋への負担、またコロナ病棟となる部署に元来ある診療科の調整(他部署への転科)が、一部の部署のみに負担が偏っている。</p>	
124		医療職員	<p>新型コロナウイルス疑いのため防護服は通常のマスクとビニールエプロン、メガネでの対応にて、マスクより呼気がもれメガネがくもり、処置(点滴施行時、静脈針留置時にメガネがくもり大変だった)に時間がかかった。</p>	

125	岡豊	技術職員	残業が増えた。 コロナ対応の病棟をつくったことによって、その病棟に元々いた患者が自分たちの病棟に送り込まれ多忙となった上に、医療事故が増えた。	
126	岡豊	医療職員	感染対策、要望策、対応策がその都度変化し、追いつくことが大変(仕方のないことではあるが、全員が100%把握しきれているとは思えない)	特になし
127	岡豊	医療職員	コロナ疑いの患者の対応だけでなくコロナのための病棟新設に伴う他科の患者受け入れは大変負担でした。	コロナ疑いの患者に使用するため物品が不足していて、他の防ゴが必要な処置の際、適切な防ゴが出来ていない。 面会時間を設けることによって(14:00—17:30)14:00頃面会受付に人が集中している。それはリスクは上がらないのか?疑問に思う。分散が基本では?また、よく出入りする業者さんが面会について詳しく知らない。周知が必要では?
128	岡豊	医療職員	新型コロナウイルスに罹患した患者受け入れの為、病床編成が行われ、普段対応しない患者の対応にとまどうことがあった。時間外労働も増加し、身体的負担も大きかった。	
129	岡豊	医療職員	コロナ疑いの患者さんが入院すると対応に困る。他科の患者さんが増えた。	病床確保(コロナ対応の)
130	岡豊	医療職員	飲み会なし、楽しみなし、ストレスたまるだけ	コロナ騒ぎすぎでは?インフルエンザや熱中症のほうが致死率高いし、危険だと思う。PCRもすぐにしてもらえず、陽性であっても野放し状態、申し出たらPCRくらいすぐすればいいのに。
131		医療職員	研修や会議ができない。3密にならずに行うには限度がある。学生も実習に来れず、人材育成の面でも心配。 感染対策に必要な物が不足している。 長期化してきて、精神面でも疲れる。患者や家族への配慮(面会・つきそい制限・禁止)スタッフ(自分も含め)行動じしゅく。	マスクやガウン、手袋・消毒など必要物品を供給してほしい。物が少ないからと自分や周囲を守れないのではこまる。感染を拡大させないためにも、必要な時、場所に必要な人と物はほしい。
132	岡豊	医療職員	病棟での研修開催で、これまでとは違って集合研修ではない分、確実な効果的な研修になっているか不安である。(普段そのような事をしてない為)	

133	朝倉	教員	<p>ソーシャルディスタンスをとる意識は高まっているが、知的障害特別支援学校で、それを完全に守るのは難しい。</p> <p>リモート会議など、コロナが終息した後も有効な方法がとれるようになってきているが、回線の不具合などがまだ多く、以前よりも時間がかかるとし、ストレスも大きい。</p> <p>消毒作業といったこれまでにはない仕事が増えている。</p>	<p>リモート会議や研修がもっとスムーズに行えるようになるために機器を新しくする予算請求をしてほしい。</p>
134	朝倉	教員	<p>音楽の授業、合唱・合奏ができない。→個別撮影し、リモート合奏・合唱風に編集して取り組んだ。新鮮で楽しめている。</p> <p>現場実習も制限がある事業所もあり、多少影響あり。</p> <p>運動会ははじめ各行事の3密をさけた工夫。→企画立案がなかなか大変。。</p> <p>研修会がリアル→リモートへ。→便利な分、ライブの温度はいまいち伝わりにくいかと。。</p> <p>教育研究会を1年延期→2020年度は研究計画が遅滞。仕方なく延期→その分、研究期間はのびたのでじっくり研究を進めている。</p> <p>呑み会などコミュニケーションが不足か。(かといって深刻な問題に発展してるとは思わない)</p>	
135	朝倉	教員	<p>感染予防対策への時間(清掃・消毒)が増えている。</p> <p>オンライン授業、会議の環境が整っていない。</p> <p>マスク・消毒等、感染予防に必要なものについて、支給されることはとても助かっているが、申請から届くまで、さらに時間が短くなると良い。</p> <p>感染予防に時間がとられるためか、全体としてあわただしい雰囲気となっている。</p> <p>教育実習生を受け入れるにあたり、より安全な学校づくりをどのようにすすめていけばいいのか、考えることが多い。</p> <p>学校安全に関する意識は高まっている。児童・生徒に対しても感染予防、中傷をしない等の学習を行っている。</p> <p>マスク着用と熱中症対策について、考えることが多い。</p> <p>学生が授業を受け学ぶ権利を保障しながら、人が密になりやすい環境となり、どのように安全な生活を保っていくのか不安がある。</p> <p>教育実習・介護等体験など学生が経験できないことが増えているが、不安が大きいのではないか。</p>	<p>感染症対策で必要な物品をできるだけはやく準備していただけると助かります。</p> <p>学生の授業の保障とキャンパス内（附属校園を含む）の安全をどう考え、実施していくのか、分かりやすく示していただきたい。</p> <p>オンライン会議の環境が十分ではなく、予算をとまなうためたいへんではあるが、少しずつでもすすめていただきたい。</p>

136	朝倉	教員	<p>活動が制限されるようになった。宿泊を伴う学習や校外学習の中止・延期。音楽・体育など授業内容の制限。</p> <p>消毒の時間の確保。ジ亜塩素酸消毒してふき上げると安心だが、時間がかかるので、授業の準備時間が少なくなることがあった。</p> <p>コロナ対策の指針が示されているが、実用する教職員、児童生徒、保護者には、いろいろな面で温度差が生じる。</p> <p>手洗いに並ぶ時間が長い。20秒清浄を守ってほしいが急ぐときに困った。</p> <p>ディスタンスは気をぬけば密になるが、密は視覚的に分かりやすいので注意が通りやすい。(手洗いも)。大きな声で会話することは、言葉が達者な知的の生徒には自覚できにくい。</p> <p>集会のあり様が変わった。</p> <p>防災にディスタンスの考えが加わってきて、避難訓練時も配慮を要するようになった。</p> <p>これから起こるであろう新たな問題に柔軟に対応していく感覚を少し身につけてくれたのではないかと思う。</p>	<p>高知県教育ネットとの接続。(教育センターとのweb上のやりとりがスムーズにいかないようです。県関係の研修申し込みや受講ができたと思います。必要時には、連携もしやすいのではないのでしょうか。</p>
137	朝倉	教員	<p>コロナ対策や感じる不安や緊張感など個人差はありますが、話し合っ て生徒のためになるように一步一步すすめてきたと 思っていて、コミュニケーションがうまくいって る職場だと再認識できた。</p> <p>消毒など業務的には教員の負担は増えたが、生徒がこれない状況もまた負担(心配もあり)だったと思う。</p> <p>在宅勤務では持ち出せない資料も多く、できることが限られて工夫するのは大変だった。</p>	<p>学校のwifi環境を今よりも快適にして、リモートがやりやすいように整備されるとありがたいと思う。</p>
138			<p>学習計画がたてづらい。</p> <p>慣れない在宅勤務。</p> <p>慣れないリモート会議</p> <p>業務が増えた。(校内の消毒等)</p>	<p>教員の増員</p>
139		技術職員	<p>附属病院の患者さん(入院・外来含め)が、マスクをお持ちでない事が多く、できる事がかなり限られた。</p>	
140	朝倉	教員	<p>その時々で対応していかなければならない状況下で、教職員も常に気を張っている様子・疲れ切った雰囲気がある。誰が悪いわけでもなく、早く終息することを祈るのみです。</p>	
141	朝倉	教員	<p>消毒作業が業務に入る。</p> <p>児童・生徒支援の時のソーシャルディスタンスを保つことの難しさ。</p>	
142	岡豊	医療職員	<p>学生が手術見学できず指導しにくい。</p>	